

(令和2年12月6日)

12月5日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内134例目(県内155例目)となる感染者が確認されました。

この方は松江市在住、70歳代の男性の方でございます。11月30日に陽性が判明しました市内130例目の方の濃厚接触者として、12月2日に検査を行い陰性でしたが、健康観察中の聞き取りで、発熱があったことを確認したため、昨日12月5日に再度検査を行った結果、陽性が判明したものです。

この方は、保健所の指導の下に自宅で待機し、本日12月6日、感染症対策を講じた医療機関に入院されたところです。現在の症状は、咳や倦怠感があるとのことであり、軽症です。

この方の濃厚接触者は概ね特定できており、速やかに検査を行ってまいります。

松江市においては、断続的な感染者の発生が見られますが、感染経路が把握できていますので、市中感染というような状況にはないと考えております。

全国では新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、市民の皆様お一人お一人の感染予防や健康管理により、本市におきましては感染を最小限に抑えられていると認識しております。

市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のほか、「三密の回避」や「換気と加湿」にお取り組みいただき、少しでも体調が悪く感じたら早めに休むなど、健康維持に努めていただきますようお願いを申し上げます。

年末に向けて機会が増える飲食の場面は感染リスクが高まる点などに留意いただき、会食の際にも、会話時にはマスクをつけるなど、感染予防に引き続きのご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。